

件名：在宅栄養に興味がある方必見！「第 12 回在宅栄養管理学会学術集会」のご案内

第12回 日本在宅栄養管理学会学術集会



第 12 回在宅栄養管理学会学術集会

開催日 2025 年 6 月 21 日（土）～22 日（日）

会場 大妻女子大学 千代田キャンパス

オンデマンド配信：2025 年 7 月 7 日（月）～7 月 31 日（金）

詳細・お申し込みはこちら：<https://jhnms-congre.jp/2025/>

オンデマンド参加申し込み受付中！ 当日参加も可能です！

★詳細プログラムはこちら★

<https://jhnms-congre.jp/2025/underconstruction.html>

この度、第 12 回日本在宅栄養管理学会学術集会を 2025 年 6 月 21 日(土)・22 日(日)の両日、大妻女子大学（東京都千代田区）において開催させていただきます。

本学術集会では、メインテーマを「在宅栄養が導く豊かな生活～地域共生社会を「食」の視点で考え・つなぐ」とさせていただきます。

直面する 2040 年問題では、医療や介護において需要がピークに達し、それに伴う人的・物的リソースの不足が懸念されております。その中で栄養士の役割はより重要かつ多様化すると予測されます。個別の疾病や障害に応じた栄養管理、多職種連携、家族支援、ICT の活用など、栄養士の専門知識を活かした介入への期待が生まれています。様々な課題解決のためには「食」の視点を持ち考え、つないでいくことが栄養士の専門性のひとつであると考え、発表や議論を通した学びの機会にしたいと考えております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 12 回日本在宅栄養管理学会学術集会

会長 **水野優子**

（認定栄養ケア・ステーション オレンジよこはま 代表）

＜おすすめプログラム＞

基調講演 「2040年の医療提供体制等総論」

演者：中田 勝己氏 厚労省医政局地域医療計画課 課長

勇美記念財団特別講演 「在宅療養支援病院における在宅栄養管理の重要性」

演者：鈴木邦彦氏 全国在宅療養支援医協会会長

特別講演Ⅰ 「人生の最期に食べたい一皿」

演者： 三國 清三氏 料理家

特別講演Ⅱ 「データサイエンスで進化する健康管理～栄養士が知っておくべき基礎知識～」

演者： 松田 晋也 氏 産業医科大学 教授

シンポジウム①「医療も介護も薬局も「食」でつなごう～保健事業と介護予防の一体的実施～」

保健事業と介護予防の一体的実施を行政とどう契約して、どんなふうに行なっているのか。栄養ケア・ステーションから、薬局から、病院からと、違う立場からの実際の話を聞けます！

シンポジウム②「在宅ケアにおけるリハビリ、栄養・口腔ケアの連携強化とその効果」

通所リハビリテーションのリハ・口腔・栄養の一体的取組は気になるサービスの一つ。これを先駆的に活動している実践者の必見シンポジウム！連携のコツをつかんでください！

シンポジウム③「医療と在宅をつなぐ～嚥下ショート取り組みから考える～」

ショートステイ利用中に機能回復のために多職種の嚥下チームが介入する「嚥下ショート」。この新しい試みを実践しているチームがそのまま登壇されます。ヒントがたくさん見つかります。

シンポジウム④「地域共生社会の実現に向けた医療的ケア児・者支援の実際」

医療的ケア児・者ケアは医療、介護、障害福祉の制度を超えた大きな「輪」です。今回は親の会の方にも登壇していただき、地域をつなぐ現場を伺います。

シンポジウム④「地域共生社会の実現に向けた医療的ケア児・者支援の実際」

これまでの震災経験をもとに、支援を受ける側、支援に行く側の双方の視点をお話しいただき、行政機関、JDA-DAT などとの連携も含め、我々栄養士は何をすべきかを考えます。

どの地域でも起こりうること。我が事として気持ちの準備をしておきましょう☆

ミーティング 「栄養士どこにいる問題はなぜ起こるのか」本音で話そう参加型ミーティング

「訪問に出たいけど出られない」「地域に栄養士がいない」その原因はどこにある？アンケート機能を使ってスピーカーと聴講者全員が本音で話せる本学術集会初プログラム！

他、一般演題発表も多数！

一般社団法人日本在宅栄養管理学会ホームページはこちら↓

<https://www.houeiken.jp/>

【お問い合わせ】 一般社団法人日本在宅栄養管理学会事務局

✉ houeiken@gakusai.co.jp